180706 版

シンポジウム

日本で初めての
国立自然史博物館を
沖縄に！

平成 30 年 **7 月 23 日（月）** 午後 1 時〜午後 5 時 40 分

笹川平和財団１１階国際会議場　東京都港区虎ノ門１−１５−１６
（地下鉄・虎ノ門駅から徒歩１分）
https://www.spf.org/profile/access.html

主催：一般社団法人国立沖縄自然史博物館設立準備委員会
沖縄県
国立研究開発法人海洋研究開発機構
笹川平和財団海洋政策研究所

参加申込：https://www.spf.org/opri-j/news/article_24971.html に事前登録

平成 28 年５月、日本学術会議から「国立自然史博物館設立の必要性」と題する提言が公表されました。これに関わり、あるいは賛同した有志たちは、沖縄こそ国立自然史博物館の設置場所にふさわしいと考えるに至り、法人組織を立ち上げ、その実現に向けて活動を本格化させました。
本シンポジウムでは「国立」「自然史」「沖縄」の意味とそれらの関連を語り合うことで、日本に今まさに必要な国立沖縄自然史博物館の姿を明らかにします。
日本初の国立自然史博物館を沖縄に作りましょう！

問い合わせ先：一般社団法人 国立沖縄自然史博物館設立準備委員会
〒113-0033　東京都文京区本郷７－２－２ 本郷ＭＴビル４階
Tel. 03-3814-5461; Fax. 03-3814-6216　E-mail: okinawa.n.h.museum@gmail.com
URL: https://sites.google.com/view/okinawa-natural-history-museum/

シンポジウムの基本コンセプト
研究で成り立つ世界最先端の自然史博物館；それによるアジアへの貢献と、世界における日本のプレゼンス；自然史遺産の世界三大拠点の一つ；沖縄の自然環境とエコツーリズム；沖縄は、平和教育だけでなく、自然教育・次世代人材育成の拠点。

©Oshiro naoki

ハマサンゴの仲間 01
沖縄県 環境部 自然保護課

CC BY NC SA

プログラム（案）

180706 版

総合司会：竹田有里（環境ジャーナリスト）

1:00　開会挨拶　浅島　誠（設立準備委員会委員、東京大学名誉教授）

1:05　挨拶　島尻安伊子（内閣府大臣補佐官（沖縄政策担当））

1:10　挨拶　翁長雄志（沖縄県知事）

1:15　挨拶　森本浩一（国立研究開発法人海洋研究開発機構特任参事）

1:20　［設立活動の経緯］岸本健雄（設立準備委員会代表理事、お茶の水女子大学客員教授）

1:35　［国立沖縄自然史博物館構想］馬渡駿介（設立準備委員会理事、北海道大学名誉教授）

1:50　休憩

セッション１．日本で初めての国立自然史博物館を！

2:00　基調講演：米国の自然史博物館関係者（調整中）
［研究を基盤にすえた自然史博物館］

2:30　基調講演：シンガポール大学 Lee Kong Chian 自然史博物館 Peter Kee Lin Ng 館長
［日本で初めての国立自然史博物館へのアジアからの期待］

3:00　座談会「自然史博物館を語る」

・モデレーター：馬渡駿介（設立準備委員会理事、北海道大学名誉教授）
・基調講演（米国とシンガポール）の演者
・林　良博（国立科学博物館館長）
・大路樹生（自然史学会連合代表、名古屋大学博物館館長）
・伊澤雅子（琉球大学理学部長）

3:40　休憩

セッション２．沖縄に国立自然史博物館を！

3:50　基調講演：西田　睦（設立準備委員会委員、琉球大学理事・副学長）
［琉球列島の陸と海の自然の豊かさをふまえた国立自然史博物館］

4:20　沖縄次世代の夢ー沖縄の高校生との対話ー

・司会：竹田有里（環境ジャーナリスト）
・辺土名高校と八重山高校の生徒
・辺土名高校・東竜一郎、八重山高校・山崎仁也（高校生引率の先生）
・島尻安伊子（内閣府大臣補佐官（沖縄政策担当））

4:50　座談会「沖縄に設立する意義を語る」

・モデレーター：角南篤（笹川平和財団海洋政策研究所所長）
・島尻安伊子（内閣府大臣補佐官（沖縄政策担当））
・大浜浩志（沖縄県環境部長）
・白石武博（株式会社カヌチャベイリゾート代表取締役社長；沖縄財界から）
・西田　睦（設立準備委員会委員、琉球大学理事・副学長）
・園田　朗（国立研究開発法人海洋研究開発機構・国際海洋環境情報センター（GODAC）センター長代理）
・沖縄にゆかりのある知名人（未定）

5:35　閉会挨拶　岸本健雄（設立準備委員会代表理事、お茶の水女子大学客員教授）

5:40　終了